



いなみ虹保育園病後児保育室 レインボー通信

No.18. 2018.09.26発行



秋に増える感染症に注意！

秋の足音が聞こえてきました。朝と昼の寒暖差を感じるようになりましたね。体調を崩さないよう注意しましょう。秋に流行る感染症として、「マイコプラズマ肺炎」や「RSウイルス感染症」があります。どちらも、のどや気管支・肺といった呼吸器に炎症を起こす病気です。

	マイコプラズマ肺炎	RSウイルス感染症
症状	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱、倦怠感、頭痛、喘鳴。3～4週間続く咳。 ・幼児では鼻水も多い。 ・通常は3週間程度で自然治癒する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱(ない症例もある)、咳、喘鳴、鼻水。月齢が低いほど肺炎を合併しやすい。 ・1歳以下では中耳炎を合併しやすい。 ・通常は1週間程度で軽快する。
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児では、症状が軽く済む場合が多い。 ・軽症の場合、気付かれないうまま親や兄弟へうつすことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生後1ヶ月未満児が感染した場合は、無呼吸に注意。 ・新生児、早産児、先天性心疾患などの基礎疾患がある子どもの場合は重症化のリスクが高いため注意。
受診のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸が苦しそう ・ゼーゼー、ヒューヒューなどの音が出て眠れない ・水分、食事がとれない ・声が出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・咳が長引いている ・咳以外に発熱、鼻水などの症状がある ・眠れているが咳が出る ・上記の症状はないが、気管支が弱い、ぜんそく気味と言われたことがある

咳が出ているとき、左記の症状が一つでも当てはまれば、の先を参考にしてみてください。

予防をするには？

これらの感染症は、有効なワクチンはありません。通常の風邪と同様に手洗いで予防となります。これらの感染症は何度も罹患する可能性のある病気のため、一度かかったことがある人も注意しましょう。特に、罹患している小児のいる家庭では、大量のウイルスにさらされやすく、家族間での感染が起こりやすいと言われています。可能であれば患児はマスクをし、共用タオルは使わず、個別のタオルかペーパータオルにしましょう。

☆ ご予約・お問い合わせ ☆
いなみ虹保育園・病後児保育室「レインボー」
住所：兵庫県加古郡稲美町国安1256番地
TEL:079-490-2064(専用電話)
FAX:079-490-6682



★ 編集：篠田

参考：国立感染症研究所Hp、感染看護に必要な知識と対策 小児感染症のイロハ